

活性化モデル商店街の概要

商店街名：蟹江町商工会

●キャッチフレーズ

笑顔溢れ活気に満ちた商店街づくり

●活性化モデル商店街としてのモデル性

誰もがイキイキとした安心安全なまちづくりに寄与する、商店街が本来持つ機能を回復し、子供たちが自分の生まれ育ったまちを誇りに思えるまちづくり

◎商店街の将来ビジョン

駅前を中心とした地域は、近年アパートやマンションが建設ラッシュを迎え、流入人口も増加し、名古屋市のベッドタウン化が進んでいることから、蟹江町に長年語り継がれてきた伝統や文化、商業の町として栄えてきた歴史を今一度取り戻せるよう、打上げ花火形式のイベントありきではなく、真に地域が求める商店街の姿を模索していく必要がある。

このため、空き店舗対策事業に加え、地域全体が同じ目標を持って取り組めるような、商工会、商店街、行政、更には住民団体が一体となった事業展開を行うこととし、蟹江町の玄関口でもある、近鉄蟹江駅前周辺の活性化を中心とした新しい動き、町内の地域資源などを利活用した継続的事业を模索しながら、常に新しい取組みを提案していく。

- 1 商工会・発展会・地域団体が連携した空き店舗対策や、イベント開催にあたっては、いかに地域住民を巻き込んでいくかを検討し、商店街の賑わい創出につなげていく。
- 2 地域の垣根を越えた連携を積極的に図っていくことで、ミクロな地域毎のイベントではなく、マクロな視点でイベント自体も捉えていく。
- 3 遠隔地商工会地域連携締結先である沖縄県読谷村商工会と共同で実施している、新しい形の特産品開発を絡めながら、商店街での話題創出も戦略的に実施する。

◎具体的に取組む事業内容

○地域資源活用事業（26年度～27年度）

- ・町内5発展会及び商工会による地域商店街活性化事業（自然歴史資源の有効活用）